

キラリ! 地域おこし協力隊

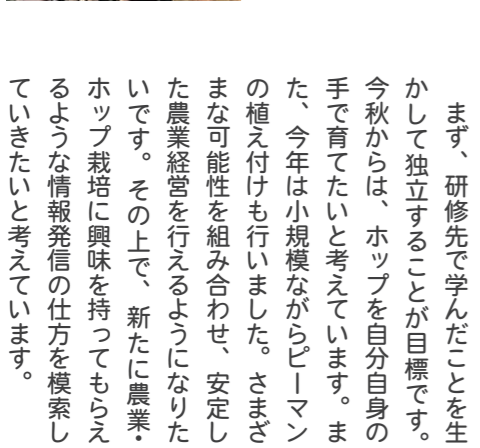
遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1



2



3

1_ホップ畑での1枚
2_時期ごとに作業内容はさまざま。写真はホップの株に土を被せているところ 3_収穫作業は暑い中、沢山の人が協力して行います

Q 活動内容を教えてください
ホップ農家のもとで栽培方法を研修しています。長年培ってきた技術やノウハウを親切丁寧に教えてもらえるので、タメになることばかり。言葉で教わることで、目でも盗める技術はひとつでも多く自分のものにする努力をしています。

Q 活動での気づきを教えてください
遠野市はホップの一大産地ですが、農家数や栽培面積は減少傾向



ホップ栽培を継承して 持続可能な産業へ

中村 友隆 ともたか 隊員 盛岡市出身・30歳
(2018年7月着任、本年6月末まで)

ホップは春先から雪が降るまで、長期間の作業が必要な作物です。グリーンカーテンは言うまでもなく綺麗ですが、季節ごとに異なる姿を見せてくれるホップはとても魅力的だと感じています。

移住し、挑戦中！
中村さんのプロジェクト
「ビールの里構想」
(ホップ農家)

にありません。共同収穫における人手不足も年々深刻さを増しています。そんな中、SNSを通じて「収穫作業を手伝いたい」「ホップ栽培に興味があるので手伝いにいきたい」という声を聞くことがありました。情報発信の有用性を感じたと同時に、人員募集の裾野を広げるための仕組みづくりが今後必要になっていくと感じています。

Q 今後の目標を教えてください
まず、研修先で学んだことを生かして独立することが目標です。今秋からは、ホップを自分自身の手で育てたいと考えています。また、今年は小規模ながらビーマンの植え付けも行いました。さまざまな可能性を組み合わせ、安定した農業経営を行えるようになりたいです。その上で、新たに農業・ホップ栽培に興味を持ってもらえるような情報発信の仕方を模索していきたいと考えています。

遠野の地域資源を活用して 事業創出に挑戦したい人を募集中です

市は、(株)NextCommons(ネクストコモンズ)との協働で、平成28年から「遠野ローカルベンチャー事業」を展開しています。この事業は、遠野の地域資源を活用して事業創出に挑戦したい人を、市の「地域おこし協力隊」として採用しています。

詳しい募集内容は、
Next Commons Lab 遠野
note 記事にて掲載



- 募集人数・主な要件 5人
 - ▷ 都市地域・政令指定都市に住む人
 - ▷ 採用後、遠野に移住できる人 など
- 募集期間 7月28日(水)まで

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。本コーナーでは、市の「市史編さん事業」で分かった遠野の歴史文化や遠野遺産などについて紹介します。



「たそがれ土偶」 年齢/約4,000歳
出身/夫婦石袖高野遺跡(遠野町)

背中も
見どころ。
背骨が――。



岩手のローカル・ヒーロー
「鉄神ガンライザー」も「たそがれ土偶」に興味津々!

今年「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の可否が決まる年です。例年に増して、縄文時代が注目されています。本市では、国指定史跡の「綾織新田遺跡」をはじめ、さまざまな縄文遺跡が見つかっています。縄文時代は、ここ遠野にもありました。縄文時代は、縄文時代はどんな時代だったのでしょうか。1万6500年前から2400年前の約1万年以上の間、戦争もなく、人々は土器や土偶作りなどに情熱を傾けました。使い方のわからない不思議な物をさまざま作っていました。そこには、物作りや装飾、祭りに必要以上に労力を費やすこと、すなわち「遊び」の精神が見てとれます。「遊び」は結果的に、富が集中しすぎるのを防止。文化芸術が小さな社会を充実させ、長期におよぶ時代を維持できたと考えられています。縄文人は現代の私たちに「持続可能な社会」とはどのようなものを語りかけているのです。

市は現在、「遠野縄文展」ジョーモンヲタノシモウ!!」を開催しています。遠野で発見された縄文土器や土偶、石器などを市民の皆さんと一緒に楽しめるよう、遊び心いっぱい展示しています。テレビでも紹介された「たそがれ土偶」も皆さんを待っています。ぜひ会いに来てください。



遠野にもあった「縄文時代」 今、ジョーモンがアツい!



ジョーモンヲタノシモウ!! 「遠野縄文展」開催中

遠野町で発見された「たそがれ土偶」のほか、土器や石器などを遊び心いっぱいに展示しています。

入場無料 ▶ 2021.10.17 SUN. まで
会場/遠野まちなか・ドキ・土器館
開館/10時~16時、休館/月曜
※月曜が祝日・振休の場合は翌日



※紙面の都合で今月号の「遠野遺産」は休載します

同時開催中! たそがれ土偶のつぎやきコンテスト

あなたが感じた「たそがれ土偶のつぎやき」を書いて、会場の特設コーナーに貼り付けてください。優秀作品には光る「たそがれ土偶」レプリカをプレゼント!

参加無料! 土器&土偶作り教室

オリジナルの土器か土偶を作ろう!
■とき 7月3日(土)、9時~12時半
※7月31日(土)に野焼き予定
■定員 15人※要申し込み、先着順
■問い合わせ 市文化課(☎62-2340)



遠野まちなか・ドキ・土器館
公式縄文インフルエンサー

阿部 マホコさん